

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

鈴木 けいすけ

自民党を変え、政治を変える突破力。

改革、断行。



政府の焼け太り、利権政治と断固闘う。「小さな政府」へ。

- 不要な道路工事などの公共事業や生活保護問題に代表される「大きな政府」、既得権を守る政治と訣別。また二重行政を撤廃し、議員・公務員数も削減。
- 将来の大増税阻止のため、無駄な歳出削減を徹底。社会保障等でも優先順位を明確化。適切なタイミングでの最小限の消費税率引上げにより金利負担を最小化。



「子育て」「人づくり」こそ国の礎。頑張る人が主役の「やればできる」日本。

- 公教育の充実やグローバル人材の育成、待機児童対策などの子育て支援など、将来への投資を優先。
- 再チャレンジしやすいベンチャー支援、よりフレキシブルな労働市場への改革などにより、「頑張らない人に優しい」社会でなく「頑張る人が報われる」社会へ。



バラマキなしで景気回復。構造改革・国際競争力強化で日本復活。

- 官主導の旧来型の公共事業中心の経済対策から、減税や規制緩和を中心とする真に民間活力主導の成長戦略への転換。
- 日本の競争力をフル活用するために、TPP等の枠組みを活用し、中国に主導させない形で知的財産権などの国際ルールづくりに積極関与。



「事なかれ」でない戦略的外交で国益を守る。

- 日米同盟を基軸にオーストラリア、台湾、ベトナム等とも連携し、中国や北朝鮮の国際秩序への挑発に対抗。
- 集団的自衛権の限定的行使を速やかに容認。日米同盟を強化し、国際社会からの孤立を防ぐ。

三十年前、ビジネスやマネーは、黙っていても世界から日本にやってくる。しかし、もはやかつてのような圧倒的な経済大国日本ではありません。厳しい国際競争の中で、適切な戦略と政策がなければ、ビジネスやマネーも日本にやってくるはず。政治は本来そのための戦略を打ち出さねばならない。

しかし、残念ながら、政治はまだまだ古い政治から脱却できていません。しかもやがて既得権に縛られ、結果として、毎日額に汗して働きながら、圧倒的に多くの方々の「頑張り」の方を向くことができず、自民党もまた変わらねばなりません。

安倍政権がスタートして二年、TPP、法人税減税、規制改革、農政改革、医療改革と、旧い政治勢力からの抵抗があまりながらも、それなりに改革を進めてくることができました。それは多くの皆さまから改革を進める安倍政権の姿勢に支持をいただいたからです。しかし、まだまだ改革の道は始まったばかりです。まだ弱い景気回復の流れをしっかりとしたものとするためにも、改革の流れを止めるわけにはいきません。是非お力をお貸しください。

プロフィール

- サラリーマン家庭の長男として昭和52年2月生まれ
- 目黒区立不動小、開成中・高、東大法(在学中はボート部で活躍、アメフトも経験)卒業後、大蔵省、福岡国税局、在NY副領事等を経て、衆議院議員(二期)
- 衆議院議員連立運営委員会・外務委員会各理事、自民党総務会総務、財務金融・外交・環境各部長代理等を歴任。



自民党公認
鈴木 けいすけ
37歳

- #### ◇中谷一馬プロフィール(経歴)
- ・1983年生(31歳)、母子家庭にて育つ
 - ・地元・日吉中学校を経て、横浜平沼高校を卒業
 - ・呉竹鍼灸柔整専門学校にて柔道整復師の資格を取得
 - ・IT企業(株)gumiの創業メンバー(東証上場予定)
 - ・社会人として働きながら、慶應義塾大学経済学部通信課程へ進学
 - ～ 社会を変革するの必要性を感じ、政治の世界へ～
 - ・第94代内閣総理大臣 秘書
 - ・神奈川県政史上最年少副議長議員に当選(2011年、当時27歳)
 - ・ダボス会議のGlobal Shapers2011 日本代表(U-33)に選出(地方議員史上初)
 - ・第7回マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞を受賞(2012年)
 - ・民主党本部青年委員会 副委員長(地方議員初最年少本部役員)に就任(2013年)
 - ・民主党神奈川県第7区(港北区・都筑区) 総支部長として、地元で全力活動中。(2014年)

Facebook: kazuma.nakatani
Twitter: kazuma_nakatani
http://kazumanakatani.com/

“生きる人すべてが幸せである”
夢物語のような世界を私達みんなの力で創っていくことが、政治家としての野望であり目標です。

これまでの様々な経験を糧に、国民の皆さんに、常に新しい価値を提供し続ける「新世代の政治家」を目指します。

- **経済・産業・雇用**
将来世代にツケを回す経済政策は許さない。「継続的な成長」と「安定的な雇用」の確立と、「持続可能な社会保障」との両立を目指します。
- **行財政・国のかたち**
身を切る改革を恐れずに、「政治・行政の見える化」の徹底を図りクリーンな政治を実現。「成果指標」を用いて「行政の無駄遣いを全廃！」
- **出産・育児・教育**
子育て世代の代表として、「出産・子育ての負担軽減」を実現。語学教育・キャリア教育など「世界で活躍出来る人材の育成」を目指します。
- **医療・福祉・年金**
ICTの活用により「救急車のたらい回しゼロ」を目指し「医療提供体制全体の安定化」を実現します。「国民皆年金を堅持」できる制度改革を行います。
- **行政の情報(IT)革命**
「行政事業のIT化」を進め、手間とコストを削減します。徹底的に行政事業を効率化し、住民と行政の距離を縮める「ガバメント2.0」を推進します。
- **防災・環境・エネルギー**
数十回被災地入りをした経験から、「再生可能エネルギーの推進」や「産業構造の転換」により、「原発ゼロ社会」を2030年代に実現します。
- **外交・防衛・治安**
国民の暮らしと生活を守る為に、我が国の主権を守ります。「立憲主義」のもとで自衛権行使の在り方を明確化し、「未来志向の憲法」の在り方を構想します。

弱肉強食の世に育ち、貧困な母子家庭に生まれ、生活保護を受けて子どもが学校に行けず、夢をあきらめさせられてしまいました。だから、どうしても、子どもたちのために、すべてをかけて本気で戦います。

責任世代が国政を変える！
31歳、今を変え、より良い未来を創る為、覚悟の挑戦。
貧困世代の子どもたちのために、介護に悩む家族のために、真の福祉改革を行います。

実は、私も、貧困な母子家庭に生まれ、生活保護を受けて日吉中学を卒業しました。
働きのながら通信制の横浜平沼高校を卒業し、働きのながら通信制の慶応大学に入り、その後、大手IT企業を創業し、元総理大臣秘書、神奈川県議会議員を経験しました。

子どもが学校に行けず、夢をあきらめさせられてしまいました。だから、どうしても、子どもたちのために、すべてをかけて本気で戦います。



民主党公認
中谷 一馬



市会から国政へ!

真の地域主権改革、成果ある経済政策を。



とよた有希

1975年5月7日生

- 港北区名産在住、39才一児の父。
- 東京大学文学部行動文化学科(社会学専修)
- 株式会社電通に12年間勤務(経営修士MBA)
- 2011年統一地方選挙にて、民間主導の徹底した行政改革を訴え、選挙区トップとなる18712票を得て横浜市会議員に当選。
- 市会会派「横浜の未来を拓く」政調会長
- 維新の党 衆議院神奈川7区支部長

私たちが応援しています

国会
小野次郎 参議院議員
川田龍平 参議院議員
柴田巧 参議院議員
真山勇一 参議院議員

とよた有希 検索
http://www.yukiss.jp/

- 1 景気最優先、成長戦略を加速。
旧態依然とした経済政策が行き詰まり、実質経済が低迷する中、消費増税の凍結は当然行うべき。金融政策だけを頼みにするのはなく、構造改革、生産性強化、新規参入等による競争力向上に投資。経済の担い手である中間層を最大限に発揮できる環境整備、消費の向上により経済を底上げ。
- 2 増税の前にはやるべきことがある。
国会議員の定数削減は実行せず、一票の格差の是正も十分なく、国民との約束無視は許されず。政府によるムダ削減は全く不十分。守るべき財政規律を明確化し、歳出削減は止めるべき。消費税は公共事業のパラマキではなく、真に社会保障(年金、医療、子育て)の財源に。
- 3 地方創生は地域の力で。
国による一律での補助金や、地域商品券などのバラマキは、将来に大きなツケをまわし、地域の活力をも奪う。市民に最も身近な「地域」に「権限、財源、人間」を移譲。効果的な地域活性化のための基盤構築。
- 4 将来の原発ゼロ。
曖昧な責任所在、核廃棄物処理問題の解決なき原発の再稼働は認められない。電力自由化による市場メカニズムで、相対的に高コストな原発依存から脱却。
- 5 働き方の多様化を進め、働く者の立場を守る。
「同一労働同一賃金」等、正規・非正規社員の身分的格差を解消し、均等待遇を実現。解雇しやすき労働環境の導入、失業保険、職業訓練の充実など、セーフティネットはしっかり構築する。
- 6 教育改革、未来の人材育成。
公立小中学校における学校給食の制度化。学童保育事業の充実。むけた法的整備。経済格差を学力格差にしないための教育環境整備、所得控除等の導入による家計支援。

誰のために、何のために、700億円をかけ解散したのか!
経済政策の行き詰まり? 前閣僚の疑惑? 野党への不意打ち?
これ以上、国民そっちのけの政治は続けさせない。
野党から課題解決の政治へ!



維新の党公認
とよた 有希
ゆうき

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

頼れる政治家。第三極で次世代が希望を持てる日本を



次世代の党・神奈川県7区
まつだ
松田まなぶ
五十七歳

私たち次世代の党は、「是々非々」で政権に向き合い、「次の世代のことまで考える政治」へという軸を政界に産み出した、日本の政治の新しい選択肢です。
次世代の党は、既成政党にはできない、真の改革を推進する力量と仕組みを備えた「第三極」として、以下のことを約束します。

「次の世代にツケ回しをしない、賢い国家経営を実現」

現在、国の財政は「穴の開いたバケツ」状態。国民の税金を選挙対策でバラ撒く政治は、会計改革や財政健全化責任法案でストップさせます。消費増税の前に、「次の世代にツケ回しをしない、賢い国家経営」で、納税のいく引き締まった財政運営を実現し、政策を官僚主導から、民意を反映した真の政治主導へと転換します。将来、日本が高齢化しても、その割には税金が安いという意味では世界一の国になります。

「どの世代にも公平な社会保障制度の実現」

働けるのに働かない人に税金を投入することはやめ、真面目に努力する人が報われ、真の弱者を守るよう、生活保護法改正案や年金改革法案も用意しています。また投票権をもたない子どもたち、孫たちの立場に立ち、若者に希望を生む社会と、高齢者がイキイキと自立できる社会保障の仕組みを構築します。

「領土と主権を守る安全保障体制で、強い国家の実現」

強く誇りある日本に向け、法案や議論で他党をリードしています。

私たちは、実際に国民におカネが回る経済に向けて「次世代ミクス」を代案としてぶつけ、日銀が将来にツケを残さないニューマネーを实体经济に直接投入する百億二百兆円規模のスキームを創り、未来を創る大規模投資で新しい長期的な経済成長を実現します。

経歴

一九五七年生まれ。
横浜市港北区日吉にて日吉小・中学校に通学。
東京大学経済学部卒業後、大蔵省入省(西ドイツ留學、洲本税務署長、大阪国税局査察部長、横浜税関副長、内閣審議官、財務省本省課長、東京医科歯科大学教授、郵便貯金・簡易生命保険管理機構理事への出向等)、二〇一〇年、自ら財務省を辞して政界に転身。在官中より言論NPO理事、NPO「横浜ひとまぐらし研究会」理事、シンクタンク「研究員」大学客員教授等を歴任。
二〇一二年、第四八回衆議院選挙に出馬し初当選。
現在、次世代の党政策調査会長代理、党税制調査会長、党神奈川県連会長、党衆議院神奈川県支部長(港北区・都筑区)。

主な著書

- ◆ 競争も平等も超えて
「チャレンジする日本の再設計図」(経緯社)
- ◆ 永久国債の研究 (共著、光文社)
- ◆ TPP 異議論 (KKRコンサルティング)
- ◆ ニュートン異議論 (KKRコンサルティング)
- ◆ 新著「国力備論」(創芸社)を近日刊行

次世代の党

党最高顧問
石原慎太郎
党首
平沼赳夫
副党首
松沢しげふみ
私たちも推薦します

ホームページ <http://matsudamanabu.jp/>
ブログ <http://ameblo.jp/matsuda-manabu/>
フェイスブック <http://www.facebook.com/manabu.matsuda>

比例代表は「次世代の党」とお書きください。

消費税10%先送りではなくきっぱり中止を

安倍政権と対決
日本共産党へのご支持を



日本共産党
おやまななこ
大山奈々子

沖縄県知事選では、党派を越えた共同で、アメリカいいなりのこの国のあり方に、「ノー」が突きつけられました。財界いいなりの消費増税も国民の声が押しとどめています。国民を苦しめる政治とたたかい、暮らしのいのちを守る日本共産党が待たれています。
憲法の精神を生かせば、子育ても勉強も仕事も老後も喜びに満ちたものになるはずですが、誰もが大事にされる、世界に誇れる日本にするために、希望の議席を必ず獲得させて下さい。

消費税に頼らない2つの改革

- 1 富裕層や大企業への応分の負担を求める税制改革。
 - 2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。
- この「2つの改革」をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

暮らし第一で経済を立て直す3つの提案

- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
- 2 社会保障切り捨てから充実へ
- 3 TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

「海外で戦争する国づくり」やめ憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。

再稼働ストップ

福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノ一、政党助成金廃止

「カネ」で政治をやめる自民党か、国民の声で政治を動かす日本共産党か、自共対決は鮮明。共産党以外が受けとっている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくりたい。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

比例代表
選挙は
日本共産党
と書き
ください

投票日 12月14日(日) 投票時間 午前7時から午後8時まで

- ◎衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙(うぐいす色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙(白色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。
やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



将来の原発ゼロ! 景気最優先! 増税凍結

議員や役人が身を切る! 比例代表の一票も 維新の党へ

江田 憲司
(えだけんじ)
1956年4月28日生

- ◆東大法学部政治学専攻、ハーバード大研究員、自治体議員
- ◆退官後、環境経済学大賞受賞、環境省議員4期
- ◆家族(妻、長男13歳、次男9歳)を育てる中
- ◆書籍『原発再稼働のリスク』、『原発ゼロの道』
- ◆趣味 食べ歩き、スポーツ、カラオケ

- 1 増税の前には「へき」がある!**
まずは景気回復・雇用確保を最優先!
この状況で増税はムリ
●規制改革、技術革新投資、法人減税等で成長分野に新規参入を、金融緩和とお金だけでなく実体経済で、サビンを動かすことで景気回復し給与を上げよう
- 2 信なくば立たず! 議員や役人が身を切る**
安倍首相は国会議員定数削減の約束を守れ!
●ムダ解消の努力を尽くせ!
●国会議員の給与削減を満額支給に反したのには自民党月々100万円、年1200万円の文書通信費の使途を公開せよ!
- 3 消費税は真に社会保障を充実させるための財源に!**
今年年間10兆円の公共事業のバラマキ(例年の2倍)の増税か!
- 2 原発は将来ゼロに!**
電力自由化による市場メカニズムで
●発送電分離による新規参入競争、総括原価方式の撤廃で電気料金下げ
●シェールガス等安価な天然ガス火力導入と新工省エネ促進で、もう安くもない安全でもない原発は市場淘汰
- 3 働き方の多様化を進め、働く者の立場も守る!**
●同一労働同一賃金等で正規・非正規社員の均等待遇を実現
●セーフティネット(失業保険、職業訓練等の充実)はしっかり構築
- 4 地方創生も地域が決める!**
中央集権体制を打破
●権限や財源を市町村に徹底的に移し、地域のことは地域で決める!
- 5 国際情勢・安全・保障環境の変化に心配し、日本防衛に万全!**
●核ミサイル、領域侵犯等から日本を守り、「集団的自衛権」には断固として反対

江田けんじ 検索
http://www.eda-k.net



えだ
江田けんじ
維新の党代表

誰のため?
何のための?
解散なのか!
消費増税失敗隠し?
前閣僚の疑惑隠し?
国民そっちのけの解散に税金700億円!

インベシジョン! 国の新陳代謝!
成長分野に新しい血を!

しがらみのない立場から、安倍自民党にはできない改革を! 既得権益を打破し将来を切り拓く!

消費増税10%凍結

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

安倍政権と対決 日本共産党へのご支持を

比例代表 日本共産党
くたさき

再稼働ストップ
「原発ゼロの日本へ」
福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノ一、政党助成金廃止
「カネ」で政治をゆがめる自民党が、国民の声で政治を動かす日本共産党が、自共対決は鮮明。共産党以外が受けとっている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくります。

暮らして直す 経済を立て直す 3つの提案

- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる**
- 2 社会保障切り捨てから充実へ**
- 3 TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興**

アベノミクスで格差拡大、景気悪化
消費増税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がりが、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

消費増税に頼らない 2つの改革
日本共産党は、消費増税に頼らない、暮らしと経済を立て直す2つの改革を提案しています。
① 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。
② 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。
この2つの改革をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

海外で戦争する国づくりをやめ 憲法9条を生かした平和外交を
集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。



わかばやし 靖久
若林やまむね
日本共産党

私は、昨年デンマークに留学し、先進の民主主義と社会保障を学んできました。国民が議論し、国民が決定し、政治家が議会で代弁するといふ民主主義を日本でも実現したいと考えています。集団的自衛権、秘密保護法、原発再稼働、沖縄新基地建設問題など、国民の大多数が反対の意思を示しています。
私は、国民の声をかきこまない安倍政権の強権政治と真向から対決し、国民の判断が尊重される、「国民が主人公」の新しい日本を、みなさんと一緒につくってまいります。

党8区 国政対策委員長
1985年生まれ、29歳。産業技術短大を卒業、工作機械メーカーでエンジニア。国内と世界を歩く。東日本大震災後に宮城県石巻市のボランティアセンターの運営に携わる。党横浜北東地区常任委員。趣味はフルートとバイクと読書。
若林やまむね 検索

ふくだ 峰之

私たちが応援しています!

内閣官房長官 菅 義偉
経済再生担当大臣 甘利 明
自民党行革推進部長 河野太郎
支援するの会長 池井 優

■プロフィール
昭和39年4月8日生 B型 50歳
立教大学社会学部卒
衆議院議員秘書、横浜市議員(2期)
衆議院議員(2期)

■衆議院の役職(2期目)
●法務委員会理事
●国土交通委員会理事

■自民党の役職(現在)
●広報本部ネットメディア局次長
●IT戦略特命委員会事務局長
●資源エネルギー戦略調査会水素社会実現小委員会事務局長



貫く! アベノミクス

- この2年間で世の中は好転しました。アベノミクス、止めてもいいのですか?**
2年前、日本経済は円高とデフレにより、給料は上がらずに給料に悩み、不安を抱えたサラリーマンが多かったのではないのでしょうか。そこへアベノミクスを掲げた安倍晋三総裁が登場。新たな施策を実行に移し、過度な円高は解消され、株価はうなぎ上りになり、失業率も改善。大企業を中心に、給料やボーナスも上がりはじまりました。中小企業や個人商店が実感できる好影響も、すぐそこまできています。安倍内閣の経済政策=アベノミクスを、今やめてしまったら、全ては水の泡になります。
賃金、雇用、株価など、成果は数字に出ています。
- 信を問うテーマは、「アベノミクス(自民党の経済政策)」**
アベノミクスは、単に景気を良くし企業業績をアップすることだけが目的ではありません。社会が成熟した今、高度成長期のように毎年GDPが大幅に伸びるといのは難しい相談です。しかし、経済が安定成長し、少しずつでも着実に賃金が上がるようになれば、誰もが安心して家庭生活が送れ、子育てができます。アベノミクスをひとこと言うならば「一生懸命働けば、毎年、給料が増えていく社会の実現」なのです。私たちは、「ひと・まち・しごと創生法」を先の国会で成立させ、地方や中小企業にもアベノミクスの効果が及ぶよう次なる一手を打ちました。本法律とメリハリのある予算編成で、景気回復の実感を国民に等しく感じていただけるよう全力で取り組んでまいります。
- 水素は、原発に代わるエネルギー。アベノミクス政策の重要な一つです。**
もう原発には依存できません。次のエネルギー政策をどうするのか。今の子ども達世代に負担をかけぬよう、緊急に解決せねばなりません。私は次の新しいエネルギーに、水素を選択しました。アベノミクス第三の矢・成長戦略の目玉の一つでもあります。自民党の実務責任者としてこの2年間、全力を注いできました。エネルギー問題解決の道筋が私には、はっきりと見えています。今を生きる世代が、限りある化石燃料を使い切っていないのでしょうか。私は次世代のために、放射性廃棄物もゼロ。CO2もゼロ。クリーンな水素エネルギーを推進していきます。水素社会の実現を、ここ横浜市から始めたい。そのために、アベノミクスを買います。
水素 H₂
水素社会の実現は、新しい産業の創出・雇用に貢献します。

日経平均株価 (経済の先行きを示す株価が大幅上昇) 8,664円 (2012.11.14) → 17,490円 (2014.11.14)	女性就業者 (出典 総務省) (80万人の新たな雇用を創出) 2,660万人 (2012年) → 2,735万人 (2014年9月時点推計)
税収 (財政健全化に向け力強く前進) 43.9兆円 (2012年度決算) → 53兆円 (2014年度予算ベース)	失業率 (出典 IMF) (雇用の面でも確実な成果) 4.34% (2012年) → 3.71% (2014年10月時点)

安倍総理のタイムラインより抜粋~2014.11.30
ふくだ峰之さんは、子育て支援にいつも真摯に取り組んでいます。地域の未来を創る政治の舵をとってほしいと思います。



自由民主党
ふくだ 峰之
50歳

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



自民党公認
中山
のりひる
公明党推薦

成長の感動と安心を すべての皆様へ。

家計へ、賃金へ、地域へもつと広がり、経済・社会の好循環を実現したい。生産者、中小企業の方々、会社員、パートの皆様、投資家へ。父・母へ。年金を受給されている方、将来を担う若い人達へ。街の商店主、社会保障や教育を担っている方、研究者、世界市場の最前線のひとへ。被災された方、障がいのある方。ボランティアの方へ。すべての人達へ、心地よい日常が続くように。魅力ある未来を展開するチャレンジに、全力で臨みます。

【経済政策、規制改革】

本格的な成長軌道で速進速度を。雇用、賃金、地域経済への波及促進。若者、女性、高齢者の力が発揮できる社会へ。生活空間である商店街の活性化、地域に躍動感(ローカル・アベノミクス)を。

【外交・安全保障】

主権と領土・領海をきざし守る。外国漁船の不法行為に対し監視、取締体制の強化。サイバーセキュリティの確立。拉致被害者全員の早期帰国を実現。

【国際競争、クールジャパン】

国家戦略特区の実現、空港アクセス向上。ジャパン・ブランド、メディア芸術の魅力を発信。国際金融センターとして金融資本市場の構築。

【女性政策】

様々な人生のステージで意欲と能力が発揮できる環境へ。仕事と家庭の両立支援。

【政治・行政改革】

既得権は通用しない。道州制の導入に向け、身近な基礎自治体の機能強化。

【財政】

財政健全化を確実に、6年後は基礎的財政収支を黒字化。3年後に消費税率10%軽減税率を導入。国の借金の膨張を抑える債務管理。

【年金、医療、介護、子育て(社会保障)】

人口変化に応じた社会保障制度を構築し、真に必要なサービスを充実。医療従事者の人材確保、介護・障がい者福祉サービスを担う方々の処遇向上。エボラ出血熱、デング熱等感染症への万全な対策。

【防災・減災】

頻発する自然災害対策。治水機能の強化、浸水対策。地震・火山噴火等にひるまないソフトの整備。インフラの老朽化対策。

【エネルギー・環境】

世界をリードするモデルの構築。徹底した省エネルギー、再生可能エネルギーの導入、電力システム改革。原発依存度を極限的に低減。近隣国からのPM2.5に対し多国間で協力。

【都市農業】

都市空間の農地を維持。凛とした国へ、時代に合わせて。

プロフィール

昭和43年 兵庫県生まれ
早稲田大学大学院中退。

証券会社に金融市場分析、国債・金融デリバティブのディーラーを経て、代議士秘書。
平成21年、公選にて衆議院選挙出馬。
平成24年、衆議院初当選。
平成26年、衆議院内閣委員、財務金融委員。

自民党財務金融副委員長、財政・金融・証券関係団体副委員長、金融調査会事務局長。

【主な活動】
都市農業研究会、国民医療を守る議員の会、社会保障制度議員連盟、幼児教育議員連盟、全国保育関係議員連盟、障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟、拉致救出議員連盟、FCV(燃料電池車)を中心とした水素社会実現を促進する議員連盟、国際観光産業議員連盟、自動車整備議員連盟、賃貸住宅対策議員連盟、インターネットメディア活用推進議員連盟、証券市場育成等議員連盟、等に活動。

家族は妻と愛犬。趣味はテニス、料理。

肝心なことを
きちんとする政治



日本の未来をつくるために、 本気の改革実行します!

- 1 原発に頼らない
新しいエネルギー戦略の立案
- 2 福島復興と原発事故収束を最優先に
- 3 経済成長戦略
- 4 地方分権改革と国会改革を柱とする
新しい制度の設計
- 5 行財政改革の徹底
- 6 教育改革



日本の未来をつくる!

今、日本は課題先進国として、世界中のどの国も経験したことのない多くの課題に直面しています。原発再稼働、長期的なエネルギーの安定的確保、福島の復興と原発事故収束、長期的な経済停滞、地方の衰退など。これらの課題を解決し、日本の未来をつくるために本気の改革を実行します。

権名つよしは、霞ヶ関・永田町・大企業の強固な結びつきにより導かれる国民不在の政治を打ちこわし、地元で聞いた声を国会に反映させ、現場感を持って充実した議論を行う真の国民主導の政治を実現してまいります。

また、近視眼的なポピュリズムに安易にくみせず、50年後も国民一人一人が多様な幸せを享受することができる政治を実現するため、大局観を持って中長期的なビジョンを提示してまいります。

権名つよし・プロフィール

1975年11月20日生まれ
桐蔭学園高校(理数科)卒業
東京大学法学部卒業
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス
大学院修了
コロンビア大学国際・公共政策大学院修了

2002年 弁護士登録
2011年 経営コンサルタントに転職
2012年 国会事故調にて、原発事故調査に従事
2012年 総選挙で衆議院議員に初当選
エネルギー改革、規制改革、地方分権改革、外交・安全保障などに取り組む。
現在、維新の党財務副局長。



維新の党公認
権名
つよし

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を

比例代表
選挙は
日本共産党
と書き
ください

**「海外で戦争する国づくり」やめ
憲法9条を生かした平和外交を**

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤回させます。

**再稼働ストップ
「原発ゼロの日本へ」**

福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

**アベノミクスで
格差拡大、景気悪化**

消費税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

- 暮らし第一で
経済を立て直す
3つの提案**
- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
 - 2 社会保障切り捨てから充実へ
 - 3 TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

**消費税に
2つの改革**

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済を立て直す「2つの改革」を提案しています。

- 1 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。
 - 2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。
- この「2つの改革」をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

子どもたちに平和で明るい社会を—私は、子育て真っ最中の38歳。安倍政権による秘密保護法、「海外で戦争する国づくり」、原発再稼働、消費税増税による景気悪化など、国民の声を聞かない政治は終わりにしましょう。

消費税10%はきっぱり中止を。ブラック企業を根絶して正社員が当たりまえ、サービス残業も過労死もない「ルールある経済社会」を。一緒に、子育ても、雇用も、老後も安心できる社会、希望あふれる日本をつくりましょう。

党9区 国政対策委員長
堀口 ぼりぐち望
堀口 ぼりぐち望
検索

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

平成26年12月14日執行

神奈川県第9区選挙区(川崎市多摩区、麻生区)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

未来への責任を果たす!!



- 東北の再生なくして日本の再生なし!
- 2030年代原発ゼロ社会をめざす!
原発の新設、増設は行わず、40年運転制限を厳格に適用します。
- デフレを脱却し活力を取り戻す!
「グリーン」「ライフ」「農林水産」を3本柱に日本再生戦略を推進し、新たな雇用を創出します。
- 国会議員の定数を削減する!
- 道州制実現をめざす!
- セーフティーネットを充実させる!
最低保障年金の創設など、年金制度改革を推進します。
- 領土・領海を守り、拉致問題を解決する!

facebook <https://www.facebook.com/103hirofumiryu>

人づくりなくして国づくりなし

笠ひろふみプロフィール	
1965年	1月3日生まれ 49歳
1983年	福岡県立修猷館高校 卒業
1989年	慶應義塾大学文学部 卒業
同年	テレビ朝日入社
	報道局政治部記者
2003年	11月 衆議院議員初当選
2005年	9月 衆議院議員(2期目)当選
2008年	4月 民主党神奈川県連代表(3期務める)
2009年	8月 衆議院議員(3期目)当選
2010年	9月 文部科学大臣政務官
2012年	4月 党総括副幹事長
2012年	10月 文部科学副大臣
2012年	12月 衆議院議員(4期目)当選
2013年	1月 文部科学委員会筆頭理事
2013年	6月 党幹事長代理
2013年	9月 党ネクスト文部科学大臣
2014年	9月 議院運営委員会筆頭理事 党国会対策委員会筆頭副委員長

●川崎市麻生区 在住
●好きな言葉 “天命を信じて人事を尽くす”
神奈川県第9区選挙区(多摩区・麻生区)

笠ひろふみの決意 www.ryu-h.net

党利党略の“大義なき解散”に象徴されるように現在の安倍政権には巨大与党のおごりが感じられます。自民党の“一強多弱”の状況が続けば、国民生活の安心を取り戻すことはできません。今こそ、強い野党が必要です。“一強”に待ったをかけ、政治に緊張感を取り戻していく力を貸して下さい。私も4期11年余、政府与党、野党の立場で多くの仕事をさせて頂きました。反省・教訓も含めて様々な経験を積み重ねることができました。私たち世代が中核となり、近い将来政権を担うという覚悟で行動していくことをお約束します。



元文部科学副大臣
民主党公認
笠ひろふみ

投票日 12月14日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

◎衆議院小選挙区選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。

◎衆議院比例代表選出議員選挙

投票用紙(うぐいす色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。

◎最高裁判所裁判官国民審査

投票用紙(白色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。

やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

田中和徳は世界一の犯罪最少国ニッポン実現に向け全力投球!



田中かずのり

自由民主党

実行可能で具体性のある改革を断行!

■暮らしの安心・安全と教育の充実
犯罪やテロリズム、災害等から生命・財産を守ることは政治の最大の使命です。「世界で一番安全な国ニッポン」を創るために、各官庁が連携して再犯防止に取り組みます。また、年金制度は保険料を払ってきた人が必ず受給できる社会保障制度を構築し、未来の安心を約束します。併せて、国家の根幹である教育、すなわち「人づくり」を充実させます。

■経済成長と財政再建を同時に実現
これまで緩やかな回復基調にあった日本経済ですが、未だ本格的な成長軌道には乗っていません。しかし、重要な経済指標である雇用や賃金の改善は続いている。これまでの経済政策に間違いはありません。「アベノミクス」の三本柱の失職間投資を喚起する成長戦略「を更に強化するとともに財政健全化目標も堅持し、経済成長と国の財政再建を両立します。

■女性の活躍を推進・少子化対策・地方創生
女性が輝く社会を創り、若い世代の就労・結婚・子育てをサポートする施策を充実させます。地方の人口減少が深刻化する今、地方創生は「待ったなし」の課題です。これまでにない異次元かつ複合的な取り組みにより、「まち・ひと・しごと」創生の好循環を確立し、地方においても新たな人の流れを生み出します。

■外交・安全保障の確立
地球儀を俯瞰する積極的な平和外交を展開し、世界の平和と安定に更に貢献し、隣国との友好促進に努力します。また、日米同盟を基軸とした揺るぎない安全保障政策で国民の生命と国益を断固として守ります。北朝鮮への対話と圧力により、拉致被害者全員を早期帰国の交渉に強い態度で臨みます。

川崎の未来に責任
京浜臨海部を世界最高のライフイノベーション・環境分野の拠点に!!

◆京浜臨海部には、世界最先端技術の実用化に不可欠な製品開発力・競争力を有する企業や人材が多く集積、日本経済を牽引し、世界をリードできる企業を全面的に支援します。

◆2020年東京五輪を見据え、国際拠点空港化が進む羽田空港に隣接しているメリットを最大限に活用し、羽田空港や京浜港(東京・川崎・横浜)と連携したまちづくりを進めます。

プロフィール
自民党組織運動本部長 元・環境副大臣 元・財務副大臣 元・外務・財務、国交省大臣政務官 保護司協議会会長 元・川崎市長 川崎市陸上競技協会会長 川崎市ボウリング協会会長 川崎ドッジボール連盟会長 川崎市釣連合会長 川崎区少年野球連盟後援会長 保護司 法政大学卒業 昭和24年、山口県生まれ 趣味は切手収集と旅行



- 止まらない円安、物価高
- 特定秘密保護法強行採決
- 近隣諸国との関係悪化
- 財源不足の子ども子育て新制度
- 実質賃金の大幅マイナス
- 雇用ルールの変更
- 高齢者医療費負担増
- 原発依存へと逆戻りする安易な再稼働
- 格差拡大
- 政治とカネ
- ひと握りの法人と富裕層の優遇
- 集団的自衛権行使容認
- 旧来型のバラマキ予算

約束の『議員定数削減』には取り組まず、国民にのみ負担と不安を押しつける、

暴走する政治に喝

「お百姓さんの手を見て美しいと思える人間になれ」
小学校に入学した頃の私の父の言葉です。
サラリーマン生活 25 年間を経験した後に、政治の世界に飛び込んでからも、この父の言葉は私の政治信条の根本です。近年、勤勉、真面目、正直といった言葉を耳にすることが少なくなってきました。国民生活に「冷たい政治」が、マネー中心主義、市場至上主義の行き過ぎた競争を推し進め、不公平・不公正な格差が広がっています。本来、政治とは社会的、経済的に弱い立場の人たちの為に、その役割をしっかりと果たすべきものだと思います。私は、人を本当に大切にできる社会、「正直者が報われる」公平・公正な社会創りを目指したいと思っています。
子供たちからお年寄りまで、ひとりひとりが活き活きと暮らせる社会、美しく豊かな自然環境と共生する社会、そんな日本を創りたいと思っています。
その実現に向け全身全霊を捧げる決意です。

- まずやるべきこと
- 国民に約束した議員定数の削減を!
 - 医療・介護・年金
 - 高齢者の孤立と貧困をふせぐ!
 - 人をモノ扱いする雇用に反対
 - 誇りをもてる「雇用」と子育て支援の推進を!
 - 川崎市を次のステージへ
 - 総合特区を、生命科学の世界的な研究拠点に!
 - 拉致問題の解決
 - 横田めぐみさん救出に全力!

第16代財務大臣
城島光力プロフィール
1970年、東京大学農学部畜産獣医学科卒業。味の素株式会社中央研究所(川崎市)入社。サラリーマン生活は25年。
1996年、衆議院議員選挙初当選、以来4度の当選。2012年、第16代財務大臣に就任。
私たちも城島光力さんを推薦します。

川崎区	神奈川県議 栄居学	川崎区	神奈川県議 滝田孝徳
川崎区	川崎市議 飯塚正良	川崎区	川崎市議 潮田智信
幸区	神奈川県議 市川佳子	川崎区	川崎市議 東正則
幸区	川崎市議 山田益男	川崎区	川崎市議 押本吉司

総支部副幹事長 板橋 洋一 総支部副幹事長 松井 孝至



城島光力

民主党公認
じょうじまひろひこ

消費税10%先送りではなくきっぱり中止を

安倍政権と対決
日本共産党へのご支持を

再稼働ストップ
「原発ゼロの日本へ」
福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノ一、政党助成金廃止
「カネ」で政治をゆがめる自民党が、国民の声で政治を動かす日本共産党が、自共対決は鮮明。共産党以外が受けている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくりまします。

暮らし第一で経済を立て直す3つの提案

消費税率8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
- 2 社会保障切り捨てから充実へ
- 3 TPPからの撤退、中小企業の振興

消費税率に頼らない2つの改革

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済を立て直す「2つの改革」を提案しています。

- 1 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。
- 2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。

この「2つの改革」をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。



日本共産党 中野とひろこ

なかのひろこ

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



小泉進次郎
自由民主党公認

声を力に。

2012年の2回目の当選以来、有権者の皆さんの負託に応えたいという一心で、全力で駆け抜けてきました。この2年間、初めて与党の立場で、自民党青年局長、そして政府の一員として復興政務官・内閣府政務官の職務にあたってきました。

政務官として担当した政策分野は、社会保障・税一体改革、TPP、経済財政等、幅広いものでしたが、特に力を入れてきた取り組みは、東日本大震災からの復興、地方創生、国家戦略特区です。

3・11の直後から、数えきれないほど被災地を訪れてきました。現地でお会いした被災者の皆さんの声に耳を傾けながら、産業・教育に関する支援や被災自治体に対する人材の派遣、また風評被害払拭のための施策等に取り組み、復興を後押ししてきました。

地方創生を担当する政務官としても、人口急減に正面から向き合い、先進的な取り組みを行う全国各地に足を運び、政府の施策に繋げてきました。経済成長を阻害している岩盤規制を撤廃する突破口として、国家戦略特区の推進も手がけてきました。神奈川県全域を含む全国6地域が特区指定を受け、横須賀市・三浦市でも特例措置を活用することができるようになりました。

このように、日本が直面する様々な課題に取り組んできた2年間でした。しかし、日本はこれからの正念場です。

私は、これからも東日本大震災からの復興を前に進めたい。地方創生を成功させ、日本全国で強い覚悟で新たなまちづくりに取り組み地域に夢と希望をもたらしたい。

そのためには、国家戦略特区のような制度を活用しながら、時代遅れの規制を撤廃し、より自由で活力ある日本経済にしていきたい。そして、人口減少下でも次の世代に豊かさを引き渡していきたい。世界初の発展モデルを日本から国際社会に示したい。そのため、若い人たちが新たな発想で次々とイノベーションを創り出していける環境を整えていきたい。

初当選時の厳しい選挙でも、前回の選挙でも、変わらず支えてくださった地元の方々の気持ちに応えられるよう、初心を忘れず、一人ひとりの声を力にかえて、これからも全力で頑張ります。

小泉進次郎の三度目の挑戦に力強いご支援、よろしくお願ひします。

プロフィール
 (誕生日)1981年(昭和56年)4月14日(第33歳) (経歴) 関東学院大学経済学部卒業
 米田ロビンヒラ大学大学院政治学修士号取得 (職歴) 元米田元米田問題研究所(CSIS) 研究員 / 元衆議院議員(小泉一朗)秘書 / 元自民党青年局長 / 元自民党衆議院幹事 / 元自民党三浦市支部長 / 衆議院議員(連任2回) / 内閣府政務官・復興政務官・内閣府政務官(復興) / 野田 隆雄 / 藤野 サトウ / ゴルフ「尊敬する人物」ジョン・F・ケネディ 「好きな言葉」道徳あるところは道徳ある

比例代表も自民党へ

日々の活動はこちらから shinjiro.info/2014/



日本共産党 瀬戸 かずひろ
せと和弘

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を

消費税10%先送りではなくきっぱり中止を

原子力空母ロナルド・レーガンへの交代、弾道ミサイル防衛能力を持つイージス艦2隻の追加配備、欠陥機・オスプレイ飛来など、横須賀基地をアメリカの戦争拠点にする動きが強まっています。集団的自衛権が行使されれば、海上自衛隊横須賀基地が米軍の軍事行動に組み込まれます。

私は、自衛隊員の命が奪われ、他国の人を殺傷する事態を生まないため、集団的自衛権行使の「閣議決定」を撤回させます。消費税10%中止、暮らしと平和を守るために全力でがんばります。

消費税に頼らない2つの改革

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済を立て直す「2つの改革」を提案しています。

① 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。
 ② 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。
 この「2つの改革」をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

暮らし第一で経済を立て直す3つの提案

アベノミクスで格差拡大、景気悪化
 消費税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

① 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
 ② 社会保障切り捨てから充実へ
 ③ TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

海外で戦争する国づくりをやめ憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目、耳、口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤回させます。

再稼働ストップ
 「原発ゼロの日本へ」
 福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノ一、政党助成金廃止
 「カネ」で政治をゆがめる自民党が、国民の声で政治を動かす日本共産党が、自共対決は鮮明。共産党以外が受けとっている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくりたい。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

比例代表選挙は **日本共産党** とお書きください

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

一人ひとりのために、日本のために。



一人ひとりのために、日本のために。経済、安全保障、社会保障など多くの課題に立ち向かわなければならぬ私たちの国日本。日本に生まれてよかったと思える温かい社会にしたい。額に汗する人が報われる公正で信義のある社会にしたい。すべての政策は国民のためにあります。ようやく動き出した好循環、経済再生と財政再建をともに実現するには、この道しかない。そう確信しています。



1 経済再生・財政再建

アベノミクスの成果が確実に経済を再生させつつあります。経済再生と財政再建が両立し、「額に汗する人が報われる」社会に向け日本経済を本格的な成長軌道に乗せまします。そのためにエネルギー価格の高止まりなどの物価動向や消費に対する地域の実情に配慮してまいります。国民一人ひとりが再生を実感できる社会を実現します。藤沢市内も雇用状況は改善され、アベノミクスの効果が中小企業へ届くまであと一歩です。エネルギー政策も含め企業環境の改善を推進します。

2 地方創生・女性活躍推進

地方が主役となり、特性を生かし、責任を持って推進する取り組みを応援します。「藤沢駅周辺整備」や「遠藤地区の健康と文化の森地区計画」「村岡新駅」など国と県市が協力して基盤整備を強力に進めます。食料自給率を向上させ強い農林水産業を目指します。藤沢市・寒川町のような都市型農業に特化した政策に重点を置いてまいります。

3 暮らしの安全安心、教育再生

持続可能な社会保障制度を確立し、安心して暮らせる環境を創ります。国民皆保険を次の世代へつなげるために、医療保険制度改革を行います。

4 地球儀を俯瞰した積極的平和外交

「地球儀を俯瞰する外交」を推進し、政治の基本である「国民の財産と生命を守る」ため積極的平和外交を展開します。我が国の主権と領土・領海を守るために、監視・取締体制の強化やそのための活動拠点の整備等推進します。

5 政治・行政改革

国民のための政治・行政改革を推進します。議員定数の削減を実行したことをはじめよりよい選挙制度を引き続き目指します。行政が民間の感覚や常識から外れ、遊離しないよう厳しく監視し国民の信用に足るよう頑張ります。

6 憲法改正

時代に合った憲法が必要です。変化を恐れることなく国益を守るために必要な整備を行っていきます。

景気回復、この道しかない。比例代表も自民党へ

星野つよし Profile

昭和38年 8月8日生まれ(51歳)

昭和54年 3月 藤沢市立長後中学校卒業

昭和57年 3月 神奈川県立鶴岡高等学校卒業

昭和58年 4月 日本大学法学部新聞学科入学

昭和62年 6月 ニューヨーク「エルミララ大学」国際関係学科卒業

昭和63年 3月 日本大学法学部新聞学科卒業

昭和63年 4月 産経新聞社に入社 社会部記者

平成 2年 4月 政治部に配属、首相官邸・外務省・自民党など担当

平成 5年 3月 産経新聞社を退社

平成 7年 4月 神奈川県議会議員初当選(当時31才、最年少議員)

平成11年 4月 二期目当選(第2位)

平成15年 4月 三期目トップ当選

平成20年 2月 藤沢市長選に立候補、42,020票を獲得するも約2,800票差で惜敗

経営コンサルティング会社取締役

平成22年 6月 自民党神奈川県支部支部長に就任

衆議院神奈川第12選挙区支部支部長に就任

平成24年12月 第46回 衆議院議員選挙 73,476票を獲得し、初当選

平成25年 衆議院 外務委員会 政治倫理審査会 議院運営委員会 国家安全保障に関する特別委員会 所属

自由民主党 広報本部ネットメディア局次長

神奈川県連常任顧問

平成26年 衆議院 外務委員会 政治倫理審査会 議院運営委員会 所属

自由民主党 外交部会副会長

経済産業部会副会長 神奈川県連常任顧問



星野つよし

自民党公認

<http://www.facebook.com/hossys>

[hossys](http://www.t-stars.com/)

<http://www.t-stars.com/>

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

安倍政権と対決 日本共産党へのご支持を



日本共産党 味村みつひろ

みむら 耕太郎

比例代表 日本共産党 ください

若者を戦場に送り出す集団的自衛権の行使容認、秘密保護法の施行、原発の再稼働、消費税10%の大増税など、私たちの平和な暮らしを脅かす、安倍自公政治に国民的審判を下すことのできる総選挙です。

今、多くの若い世代が安倍自公政治に対して怒りの声をあげています。私は、若者の声を国会に届け、真に平和と民主主義、私たちのいのちと暮らしが大切にされる政治をつくるために全力でがんばる決意です。

党12区 青年・雇用対策委員長

栃木県生まれ、和光大学卒業。党神奈川県委員会勤務、週刊新聞「新かながわ」記者、党県委員会准委員長、党湘南地区委員会勤務。特技:バスケットボール

趣味:映画・美術鑑賞、読書、25歳。

[味村みつひろ](#) [検索](#)

暮らしたで 経済を立て直す 3つの提案

アベノミクスで格差拡大、景気悪化

消費増税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
- 2 社会保障切り捨てから充実へ
- 3 TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

消費増税に頼らない 2つの改革

日本共産党は、消費増税に頼らない「暮らしと経済を立て直す」2つの改革を提案しています。

- 1 富裕層や大企業への応分の負担を求める税制改革
- 2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革

この2つの改革をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

誇らしい国へ。伝統・文化を尊重しつつ、勇気をもって改革していく

自主憲法制定

国民の生命・財産を守る統治機構の確立

日本人の手による、素晴らしい伝統・文化に根ざした平和憲法の制定

- およそ現在の国際社会における、現代的な憲法は、そのはすべてで「平和主義」を明記しており、新憲法においても当然に平和主義の理念を踏襲する。国民の安全を保障する統治機構の確立を目指す。

教育改革

日本人であることに誇りを持ち、日本に愛着を持てる教育

先人たちの偉業を教える歴史教育の確立

- 自虐史観に囚われた戦後教育から脱却し、祖先の偉業を学び、日本の伝統・文化・歴史に誇りを持つ国民意識を育む。同時に、故郷・国に愛着を抱き、進んで社会の発展に貢献しようとする姿勢を育む。

経済復活

正規雇用が増え、国民所得が増加するまでの消費税増税は中止

- デフレで所得が下がっている状態での増税はGDPが下がり、かえって税収は落ちる。
- 国民経済にとっては分厚い中間層(正規雇用)を持つことが望ましく、非正規雇用が40%近くを占める状態では増税の影響が大きい。
- 国民経済にとって、格差が生じることは望ましくなく、一億総中流を目指す。

外交・安全保障

尖閣諸島をはじめとした国境の島々の防衛体制の確立

不当な内政干渉に対して、毅然として対応できる外交を推進

- 我が国の領域を含む海洋及び島嶼地域に対する国際法を無視した力による一方的な現状変更の試みに対しては強く反撃する姿勢を示し、同様の脅威に晒されている多くの国々と連携し取り組んでいく。
- 慰安婦問題をはじめとした我が国の名誉を著しく毀損する外交プロパガンダに対しては、事実の提示等の手段を講じて徹底的に反論する。また、我が国の歴史的な正当性を積極的に国際社会に発信していく。

社会保障制度改革

「自立」を前提として、家族による助け合いを強め、年齢・性別を超え、子供から大人、障害を持つ方々すべての日本国民が笑顔で暮らせる制度の確立

- 生活保護の支給対象を改めて国民に限定する。
- 三世同居・近居、いわば「お金のスープが冷めない距離」での家族の支え合いを大切にすることを通じて、家族・地域社会・国家それぞれの共同体の中で、国民が自立を前提とした上で、ともに支えあって生きていける社会を目指す。

甘粕和彦プロフィール

昭和58年 神奈川県藤沢市生まれ。藤ヶ岡中学校卒業後、地元の工務店に勤める。

平成17年 高等学校卒業程度認定試験合格。約1年の受験勉強の後、上智大学法学部国際関係法学科に入学。

平成23年 大学卒業後、民間企業に就職。

平成24年 たしがあがり日本(平沼赳夫代表)の次世代人材育成塾「かへはし塾」卒業後、日本維新の会衆議院神奈川第12選挙区支部長に就任。総選挙において32,590票いただくと落選。

平成25年 衆議院議員藤井孝男の秘書を務める。

平成26年 次世代の党衆議院神奈川第12選挙区支部長に就任。

趣味:カラオケ、スノーボード、野球

座右の銘:「志在千里」尊敬する人物:上杉謙信公



甘粕和彦

あまかすかずひこ

甘粕和彦事務所

〒251-0004 ☎0466-27-8837

神奈川県藤沢市 ☎0466-50-2947

藤が岡2-12-6 ☎090-5342-8849

shonan@amakasukazuhiiko.net

<http://amakasukazuhiiko.net/>

平成26年12月14日執行

神奈川県第12区選挙区(藤沢市、高座郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

比例区は



藤沢・寒川を愛する私たちは、あべともこさんを応援します

飛鳥田一朗 医師・竹生会理事長
石田達峯 妙善寺住職
石浜みかる 作家
今井重信 特定医療法人社団若林会理事長
浮田久子 平和の白いボン行動・藤沢
梅澤康信 元県立高校校長
小山明子 女優
西條節子 元社会福祉法人藤沢育成会理事長
芝祐久 作曲家
田川元子 鶴沼松が丘在住
葉山淳子 葉山峻元藤沢市長夫人
宮原昭夫 作家
宮原青子 画家
柳谷あき子 NPO法人品の会理事長
吉田貢 よしだみつぎ整形外科クリニック院長
藍尾公子 NPO法人ぐるーぶ藤理理事長

私も応援します

岩崎幸司 湘南地域連合議長
柏木教一 連合神奈川会長
桜井勝延 福島県南相馬市長
高野良裕 社会福祉法人湘南愛心会理事長
中川智子 兵庫県宝塚市長
藤井裕久 民主党顧問・元財務大臣
保坂展人 東京都世田谷区長
柳澤協二 元防衛庁人事教育局長・元内閣官房副長官補

あべともこ プロフィール

1948年東京生まれ。東京大学医学部卒。
湘南鎌倉総合病院など勤務
千葉徳洲会病院院長を経て
2000年 衆議院議員選挙で初当選(連続5期)。
社民党政審会長、日本未来の党代表などを歴任
2003年 藤沢・湘南台に「あべともこどもクリニック」を開設
2012年 超党派国会議員による「原発ゼロの会」を立ち上げ、事務局長に
超党派国会議員連盟「立憲フォーラム」副代表

小児科
医師

国民が止める！ 格差拡大・軍事国家への道。すべては未来の子どもたちのために！

ストップ！ 非正規雇用拡大、長時間労働

格差は生涯にわたり、貧困率上昇が止まらず、特に女性の貧困は深刻です。それは次世代へ連鎖し、子どもの貧困が深まります。実質賃金と可処分所得を減らすだけのアベノミクスには反対、雇用と暮らし、家庭を支えることが最優先です。希望する人が正社員になれるようにし、同一価値労働同一賃金を実現します。

ひとへの投資を！ やめる！ 不要な公共事業 しない！ 社会保障削減

箱もの(コンクリート)よりも人に厚く投資し、生活保障施策を充実させます。何より、東北・福島における「人間の復興」を支えます。地域の循環と支え合いを促進し、拠点としての医療・介護・福祉施設や地域の歴史と絆を担う学校・廃校を活用します。

原発ゼロへ！ 事故収束と復興に全力を

誰も責任をとらない原発再稼働も、海外への輸出も認めません。再生可能エネルギーの飛躍的拡大と省エネ徹底を押し進め、原発ゼロへの確かな工程表を実行させます。

東アジアの信頼醸成を！ 差別禁止！ No！ヘイトスピーチ

東アジアの緊張緩和、歴史認識の共有と信頼醸成を進め、ヘイトスピーチを規制します。沖縄は平和の砦。辺野古新基地は不要です。TPP(環太平洋経済連携協定)よりも、FTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)でアジアの緩やかな発展を目指します。

つくろう！ 平和創造基本法

安倍政権は軍事力行使する国への道を突き進みます。戦後日本の土台である非軍事・平和外交の国柄を捨てることは断じて認められません。専守防衛・徴兵制禁止の「平和創造基本法」を市民と一緒につくりあげます。

安倍政権の勝手な憲法解釈は国民無視、立憲主義の放棄。主権者である国民に国の未来を問うところこそ立憲主義です。

あべともこ オフィシャルサイト
<http://www.abetomoko.jp>

あべともこ ツイッター

@abetomoko_staff

主権者が未来を選ぶ 子どもをまもる！



民主党公認

あべともこ

神奈川県ネットワーク運動・藤沢 推薦
神奈川県ネットワーク運動 推薦

投票日 12月14日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

◎衆議院小選挙区選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。

◎衆議院比例代表選出議員選挙

投票用紙(うぐいす色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。

◎最高裁判所裁判官国民審査

投票用紙(白色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。

やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。